



国労せんだい

こくろうせんだい 速報版

号外
2016年3月5日
発責 大沼 元
編責 武田 昌仙

交渉を押し上げる行動！

国労東北 闘う春闘を意思統一



デモ行進で氣勢を上げる参加者

3月4日、仙台市内において国労東北総決起集会が開催され380人の国労東北の仲間が結集した。

仙台市・ホテル法華クラブでの集会は二部構成で行われ、第一部として、財団法人国鉄労働会館主催の東北労働講座が行われた（左記）。

第二部は、国労東北総決起集会が行われ、主催者を代表し、東日本本部佐藤正幸書記長と東北協議会佐々木力議長がそれぞれあいさつを行い、春闘情勢とJR会社の動向、国労の取組み、16春闘勝

労働講座 自民党支持者にも訴えを

講座では海渡雄一弁護士（国労弁護団）が講演を行った。海渡氏は、戦争法と秘密保護法廃止・



講演する海渡弁護士

労働法制改悪阻止の闘いを有機的に結びつけて闘う必要性があると、戦争に突き進んだ過去の歴史と労働法制の規制緩和、さらには脱原発の闘いとその実態を交えて具体的に説明された。そして、2016年政治決戦と労働組合の役割は極めて重要であると述

べ、その役割は安倍政権の本質をすべての市民に知らせることであり、また秘密保護法や戦争法を廃止するためには広範な野党共闘が必要と述べた。特に今わたしたちは、古くからの自民党支持者にも、「安倍政権はあなたたちが長く支持してきた自民政権とは似て非なるものである」という事実をはっきりと伝えなくてはならないと述べた。



組合員で埋め尽くされた会場

市民・会社にアピール

国労東北総決起集会の前段には、仙台支社前と仙台駅東口において早朝チラシ配布行動が取り組まれた。チラシには、「安全運行に逆行する業務委



仙台支社前での行動

託化反対」「格差社会をなくそう」「外注化とJR貨物問題」「原発」「改憲・戦争反対」など、多くの課題と要求が書き込まれており、広く市民にアピールを行った。



仙台駅東口

意を固め合おうと訴えた。また来賓として、政党や友誼団体からあいさつを受け、東北三地本（盛岡小林・秋田高橋・仙台歌川各副委員長）と東北貨物協議会高橋議長から

それぞれ力強い決意表明を受けた。集会後に参加者は4隊に分かれ仙台市内をデモ行進。賃上げを始めとした労働条件の改善や安全問題などの国労要求をシブレットレヒコールで市民にアピールし、氣勢を上げた。

東北三地本団結して頑張ろう



仙台市内になびく赤旗